

Building Together Japan 2020 チャット Q&A

竹中工務店 山崎様のご回答です。

Q: 設計～施工～維持管理で、LOD をあくまで上げ続ける前提でしょうか。設計後期段階であげた LOD を施工時には下げた方が扱いやすい場面もあるように思いますが。

A: 私の経験上での回答になりますが、まず、設計後期の LOD が施工時の LOD を上回ることはないと思っています。そのため躯体図、平面詳細図を BIM モデルから切り出していくと自然に LOD は上がっていきます。「LOD を施工時には下げた方が扱いやすい場面」というのは仮設用や維持管理用などの簡易モデルを示しておられると思いますが、それはそれで最初から使用用途に応じて必要なモデルの LOD、オブジェクトを設定し分けて書いておき、使えるようにしておくことかと思えます。仮設用や維持管理用の LOD は上げない方が良いでしょう。そのほかにも LOD を下げた方がいい場面はあると思います。そこを最初に設定し、モデルをコントロールするのも BIM マネージャーの重要な任務だと考えます。

Q: これから Archicad を習得していくのですが、基本操作ができるようになってプロパティ・情報操作を学んでいったほうがいいのでしょうか?先に仕組みを作っていくほうがいいのですかね?

A: 簡単にまずは基本操作、と言いたいところですが、できればプロパティ・情報操作も学びながらできる方が良いでしょう。情報の入れ方、モデルの分け方により描き方も変わってきます。最初の 2, 3 週間は操作のみでいいと思いますが、プロパティや情報操作のことが分かる方が近くにいるのであればなるべく初期から触れた方が良いでしょう。

Q: スケッチアップとどのように連携するのでしょうか?

A: スケッチアップ・プロであれば IFC の入出力が可能です。一部内装設計者とは IFC を受け渡しし、事前に配管の調整や内装の調整などを行いました。